

第二小学校建て替えに伴い、現在校庭にあるたくさんの樹木が伐採される計画であることが判明しました。

気候変動、地球温暖化、SDGsの視点から、樹木伐採は慎重であるべきです。切らないで残せる樹木は1本でも残せる建て替え計画にしてほしいと、市民が教育委員会との話し合いを進めています。上村も12月議会の一般質問で取り上げます。そのお一人明峯惇子さんからイメージを描いた絵が寄せられました。

二小建て替えに SDGsの視点も

国立二小は創立から70年。
 近々校舎の建てかえが決っています。
 校庭には代々の子どもたちを見守ってきた
 150本もの木々が、小さな森をつくっています。
 黙って立っている木々は、人間にはできない、大切な
 の働きをしてくれています。木々へのリスペクトを
 一に子どもたちが日々を過ごす場
 として校庭に手を入れて
 よいアイデア

木々に限らず、緑色
 植物は水と二酸化炭素 CO_2
 と太陽のエネルギーから
光合成をします。
 この過程で、植物は大切な酸素 O_2
 を大気に出します。熱帯雨林が世界の
 の都市と人口を支えている
 ほど重要な働きを

木や葉の内部に
 は鳥たちが巣をつくり、
 虫たちのあまを育て
 ます。

すべての動物は
 植物の光合成
 によってつくられた化合物を
 食べて生きています。
 O_2 を使って呼吸
 します。

夏に残る
 木々の葉は
 私たちに緑陰を
 提供し、呼吸で出る
 H_2O を蒸発
 させます。

若葉、紅葉...
 木々の葉は季節の移り
 を告げる。冬の木立は
 春への希望を凛々しく
 伝えます。

地面に落ちた雨水は
 木のまわりにたぐりまわ
 り、土にしみこまれて光合成に
 使われます。

土のまわりの
 ミミズやダンゴ虫は
 落葉や朽れ葉、枝などを食み、
 微生物はさらに**分解**をして
 根が吸収できる形で**栄養素**を供給
 します。

文責 A.A.

